



本年4月に実施される統一選挙から 伊勢市選挙区と鳥羽市選挙区を合区とし、 **「伊勢市・鳥羽市選挙区」 (定数4人)となります**

地域間の均衡を考慮しつつ、県内の各選挙区間における一票の格差の是正等を図るため、三重県議会の議員定数並びに選挙区及び各選挙区において選出すべき各議員の数を改める改正が令和3年5月に三重県議会で可決されました。

この改正により、三重県の議員定数を51人から48人に削減することとなりました。

この結果、一票の格差を是正するため伊勢市選挙区と鳥羽市選挙区を合区し、「伊勢市・鳥羽市選挙区」となり、定員も両市を合わせ1名減の4人となります。

現 行	
選挙区	定数
伊勢市選挙区	4人
鳥羽市選挙区	1人

↓

統一選挙(令和5年4月)
伊勢市・鳥羽市選挙区
定数4人

野村やすおプロフィール

生年月日	昭和29年6月1日(68歳)
住 所	鳥羽市相差町1896-1
経歴	昭和48年 鳥羽高校卒業 昭和50年～平成25年 元NTT社員 平成3～29年 弘道野球スポーツ少年団監督 平成11年 鳥羽市議会議員初当選 平成19年 鳥羽市議会議長 平成25～26年 鳥羽市議会議長 平成29年 三重県議会議員初当選 平成31年 三重県議会議員再当選
役 職	自民党鳥羽市支部支部長 三重県フェンシング協会会长 鳥羽市サッカー協会会长 自衛隊鳥羽志摩家族会会长 三重県防災県土整備企業常任委員会副委員長

伊勢
笑顔あふれる
鳥羽に
住みやすく



地域を大きく育てる夢を持って

観光



- 伊勢神宮・熊野古道を核とした拠点滞在型の観光の推進
- 大阪万博を見据えたインバウンド観光の推移

産業



- 漁業、農業従事者の後継者の育成
- カーボンニュートラルの実現に向けてJクレジットの推進

福祉



- 健康寿命の延伸、障がい者支援、ボランティアの育成に取り組みます
- へき地に見合ったオンライン診療を推進します

基盤整備



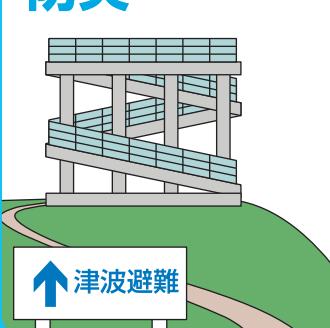
- 遅れている道路整備の推進
- 離島架橋を含めた基盤整備の推進

教育



- 児童虐待の未然防止や早期発見に向けての相談体制の確立に取り組みます
- ヤングケアラーの早期発見や支援する体制作りの推進

防災



- 防災減災国土強靭化の5ヶ年加速化対策予算を活用して激甚化する災害に即応できる仕組みづくりに取り組みます
- 南海トラフ等による津波対策として避難場所や避難路整備を促進

野村やすおの連絡先

TEL 0599-37-7225 メール用QRコード
 FAX 0599-25-8370
 E-mail
 nomurayasuobunta@gmail.com



近年の主な一般質問

魅力的な観光地づくりに向けて

[質問内容]

地域経済活性化機構(REVIC)と、連携し、地域をモデルとした将来に向けた観光地づくりにどう取り組んでいくのか。また、その成果を県内の観光地にどう発展をしていくのか。

持続可能な観光地づくりの取り組みについて (R2)

[質問内容]

持続可能な観光地づくりを進めるためにどのような取り組みを進めてきたか、そしてその成果及び今後どう取り組んでいくのか。

三重の農林水産の消費拡大について (R4)

[質問内容]

コロナ禍による農林水産物の需要減退への対応として、これまでに実施した取り組みの成果と、秋以降に実施する新たな取り組みについて

遠隔医療の連携・拡大について

[質問内容]

専門医の少ない地域医療にとって遠隔診療によって専門的な診察が受診できる

やすおの活動

むかし むかし その昔♪

30年位前から、弘道野球部の監督をしていました。なつかしいなあ。

大仏山公園や宮川河川敷で県大会・有緝大会・ぎゅーとら杯の試合をしてきました。

伊勢工業から甲子園、宇治山田商業から甲子園、と良き選手も育ちました！

あれから何十年、これからもスポーツ振興に努めています。

